

私は今日、情報との関わり方や大切さに改めて気づきました。

1人1人がメディアであり、情報を発信できること。そして全ての情

報が正しいわけではないということ。私がこれからSNSと共に

生きていく中で、とても重要なことだと感じました。私は今日

の講演を聞いて思つたことがあります。それは、1つの情報に対する

判断、本当に正しいのか、また誰がを傷つけるしのではなく、それを

「自分で判断しなければならない」ことです。ティックトックや、

ユーチューブ、インスタグラムなど日常の中ですまざまな楽しみが

増えしていく中、SNSという、情報を共有するしが身近にある

んだと気づきました。ニュースは人々が生活していく中で、

やかせないものです。それをどうらえるか、おやみにその情報を

拡散して世間を盛ませるのではなく、冷静な判断を

し、適切な情報をいち早く共有してきたのです。そのためには、今日

習った情報の貴重さ、重要さを理解し、SNSを正しく、

使っていきたいと思います。

インターネットが発達していく、私達の生活が便利になると同時に情報も簡単に手に入らうになりました。容易にメディアから情報を得られて便利ではあるけれどその中には誤った情報やテーマなどがありこれこんでいる可能性があるということを今回のNIE講演を受けて知りました。そしてどうして誤った情報やテーマを見分けるためには、その情報の発信源をたどりたり、自分で調べてみたりすることに重要だということに気がつきました。また、インターネットを活用している私達一人一人にその責任があり、誤った情報やテーマを受け可能生もあるけれど、自分達がそれらの情報を流していく可能生もあるんだと知りました。インターネットを悪用活用してネットでいっぽう中傷をしたりせず、いろんな意見いろんな方おもしろい動画、情報を大切にしてインターネットのメリットを伸ばせられるとこうに取り組みたい。また、一つの情報だけを信じるのではなくたくさんの方のメディアを通して情報を受けとりたいと思いました。いろんな大切なことに気が付けてくれています。

とってもなく勉強になりました。私は、SNSの扱いは
人一倍、気をつけていたつもりでいましたが、今回のネットでの
嘘やデマ情報に関する事を聞いて、色々な人の意見を
聞いたり、見たり、メディアと上手に付きあっていこうと、少し
目標が出来ました。後半での新聞記者に関する質問などで
記者の皆さんの心遣いなど、取材において大変なこと、大
事な事を聞き、とてもTHE大変だと感じました。少し重た
い事件などを新聞で見かけた時、取材などで、どのような
気持ちでおうかがいしていたのか、気になっていたので、記者の方々
も、悩みながらも、私達に周りの情報を新聞を通して伝えて
くれて、今までマスコミの事を不安に思っていた自分に安心感が
芽生えました。ニュースとかを調べる時は色々な人の意見を見
たり、聞いたり、時には色々なメディアを使ったりと、SNSやメデ
イアなどの情報社会を正しく使って生きていきたいです。

NIE講演を聞いたことは新聞と
つくるのは大変だと感じた。あとで「情報と
流れとは、社会を運営させることなかつ」と
思った。記者は、どうやってすこにこれは、
聞こえたんだ? そういうことを教えると
「いやそれって大変だ」と思いました。だからも、
聞かせようなどと遠回りに聞かせると
こうも、経験のつたと感じました。情報は、
CFするにかかるところが、簡単にはそれがつか
ない気がするからだと感じました。

「NIE講演を聞いてみたいですね!」
になりました。

N-1 王謹演を開いて見たことが2つあります。

1つ目は新聞をよく目にしている人々は文字をまちがえないように人をうに1文字ずつ書いていることです。漢字まちがいかれはおこられたり給料が下げられたりするからです。だからこそ僕たちに教えてくれた文章を分かりやすく伝えることを明日からためてみたいのです。2つ目は新聞を見るのに毎日かかるコスト。ときによくは1年くらいかかるらしいです。なぜなら食社や組織にとって知られたら困る情報があるらしいのです。

今回の、浜田記者の講演

聞かせて頂いて、私は、こういう新聞記者の方に、直接お会いして、お話を聞かせて頂ける機会なんて八年、八年、無くて

うれしかったです。

いつも読んでる新聞が、どうな風に記事に取るのか、かかる時間など製作の裏側を知ることが出来て、知ったです。

いつも、読者の私達のために、毎日、新聞を作り下さってる、と考えて、

すごいと思いました。これから新聞を読む際も、こんな手間がかかる？記者の方達がつけてる事を考えて読みたくなりました。

私はNIE講演を聞いて、新聞記者は自分が思っていた以上に大変なんだと思いました。私はふたん、インターネットの「ラインニュース」や「Yahooニュース」などでニュースを見ることが多いので、あまり新聞に興味がありませんでした。

だけど朝早くから新聞を作りみんなに届けていることを知り、すごいと思いました。私たちの知らない所でこんなに活躍しているなんてすごいと思いました。

また、新聞を読んでみたいと思いました。

僕は、N.I.E講演を聞いて新聞記者の人たち
はすごいと思った。僕は前まで、1つの事
件に新聞記者の人は、1人づらいやけ開きと
りに行つてないと思つていたから、それが
何人もの人に開きとりに行つているなんぞ。

あれ、くりしたし、すごいと思った。今まで、

新聞のささいなまちがえでし給料があちた
りするから、責任感があるし、そんなに
厳しいとなると僕たちも信ひして
新聞を読むと思う。僕はSNSの
ニュースをよく読むけど、新聞をよもうと
思った。SNSの情報だけを信じずと、

たくさん人の情報をから、自分なりによくめて
書きたい。新聞記者の人感謝しながら、ほんとうに
新聞を読んでいたくて思う

今日NIEの講演を聞け
た感想は初めて新聞記者
の人々の話を聞いていたのです。
なぜ聞いたかといふとほんと新聞
記者のお話を聞くことがなくて
生で記者の話を聞けて。

インターネットでのテーマの情報を流され
ば生でたいはする人が初めて見てよかったです。

私が小学五、六年生の時に一回、校外
学習で、新聞の作り方や、新聞の
発行の仕方などいろいろお伺い、
た事がある。そこでも、今日お伺い、
た事と同じ様な事を解説して下さって、
とても記憶に残っているのですが、デマ
の情報をのせただけで、たいほされる
ことは知らなかつたので、今日、そういう事
も知れて良かったです。

かのあがまちか自分をくら
めるのはすへありますいて。ま
いんじんの記者は少くてまち
がえてもしやせらへてひにた
るのはかないりまひじい
ことを思いました。

ニセのUVはうつもありそこ
もちゃんとさせるのはあせつ
うるしてはいいしまさのう
よくないもじが人のこととか
んかえいろのかと思ひます

NIEの詩を書いてあかん
うそとはよくやるうそとは
車で車で車で車で車で
かかってからでもあかん
かまくらかまくらかまくら
はしあわせの門に
かわいいかわいいかわいい
いもんでも書く開
く人はその人の手
ちぢみいじみいじみ
かわいがな詩書き
たの言ふをじてくする
し女の人がいいアーティスト
すばしいはゆかい感
ますました。ありがとうございます。
おまかせください。

筆者: 大河内 ひよし
年齢: 11歳

日々さまざまな人の信用されている情報である新聞を作っている記者の方に話をしてもうしても楽しかったこと、これからスマホを持ったSNSで情報を出す時に、「個人もメディアになることを忘れないようにしよう」と思いました。

私は、はま田さんの話を聞いて、自分は記者とかいやす事を聞く人達やと思ってたけど話を聞いていたたら亡くなった人の事と原因をつきとめたり弱い者のために動いてくれていると知りました。ネットには、色々な事が書いてあるけどすぐに信用しない事も大切だそうです。

私もこれからニュースを取り入れる時は、この情報は合っているのか、誰が捏ねてしているのかをしっかり調べてから伝えようと思いました。

ネットはすごく便利だけど「使の方をまちがえるとお金をおはな」といきなり、アンチコメントをされたり、はん罪にまでなってしまう危険性があると知りました。

これからは、コンピューターがどんどん発展していくと思います。だからこそもうなった時に、どの情報が正しいのか区別できるようにしていきたいと思いました。

NIE 講演を聞いて、「メディア」というのは、自分達も入っている、ということを知り、少し驚きました。そして、それには、自分自信が周りに発信している情報が責任があることだと改めて感じさせられました。

記者の仕事には、本人や、関係者、第三者から話を聞いて取材していく、そこには、出来事や事件に関わった人々などの思いがあるんだなと思いました。また、情報の中には、デマ(うその情報)もあって、その情報が本当に正しいのが、考えて、自分自信で判断することが情報を見きわめるために、とても大切なことだと思いました。その情報を伝えるための手段である新聞は記者の人びとが、長い時間かけて、取材しているからこそ、多くの人がなぜ必要とされるものなんだなと思いました。これから新聞を読むときは、そういうことも感じながら読みたいなと思いました。

NIE講演会で浜田記者の話を聞いて 記者の仕事は、すごい難しいですね
と思いました。いろいろな人に話を聞きに行き、本当の情報をあつめましたが、
たくさんの人におかれたり取材したりしていくこともたくさんあったと話していました。
でも記者は、読んでいる人に情報をお伝えする「専門家」
だと知りました。SNSやメディアの話して「は、テーマ情報
などのフェイクニュースや、情報の取り扱いなど」を教えてもら
いました。SNSやツイッターなどでは、自分にとても身近な
ものなので、取り扱いには常に注意しておきたいです。
今日のNIE講演で新聞や新聞記事や記者さん、メディア SNS
などについて、たくさん学ぶことができてとてもよかったです。

私は、ニュースを見るときはテレビで朝見たりラインで見たりする
ので、本当の情報の方が多いと思います。でも、もし私が
SNSなどで情報を得るときは、まずうたがって他のところで
そのニュースはとりあげられているのか確にんしようと思
います。フェイクニュースなどがあったとかテレビで見たことがあっ
て、私はいつも人を混じんさせたり、きずつけたりしたいんだ
ろうといつも疑問に思っています。本当の理由なのは知
らないけど、「悪さはなかった」だとかそういう罪をしてしま
た理由がテレビで、でているときもあってそういうのも記者の方
々が集めているのかなと思うと尊敬します。警察からの
情報かもしれないけど私は怖くてそんなの聞けないので
記者の方々はすごいと思います。でも、無理に情報をききた
いとする記者の人をテレビで見て、それはおかしいんじゃない
かなど思います。新聞とかをつくるのに人をきづけて
ほしくないと改めて感じました。

新聞記者の浜田さんが、講演にきてくれた。
最初に、ライオン脱走の事件、実はデマで、フェイクニュースなどを詳細に教えてくれた。その他にも、京アニ放火や、激辛カレーじめ、ボーグンなど、関わった物も教えてくれた。新聞記者は、たくさんの人と関わって警察などにも聞くのでうそっぽく思われることもあるらしい。また、記者のミスは一つでも大きく、減給やケビにならなど、厳しい部分も教えてくれた。最後の質問では、知っている人が少ない物をていねいに分かりやすく教えてくれた。
その他にも、聞いた事のない物がすごく多かったので、今回教えてくれた事を生かして、メディアや、情報を上手に使って、デマなどに引っかかるないようにしたい。

あまりニュースをみない私でも、今回でてきた
記事は自分の中でけ、こう印象に残っていた
ものだったので、「こんなことあつたな」と思ひ
ながら聞いていました。それにどうやって
情報を聞いていたのかなど、ついねいに教えて
くれていたので、わかりやすかったです。でも
びっくりしたのが、内容の一部に誤りがあつたとさ
れられるのはわかるけど、クビになつたりする
というのを聞いて、「クビになるの!」というおどろ
きがすごかったです。その後は、質問を一つ一つ答
えてくれてからに、やっぱり記者だから、言葉のなん
ていうんだろ、選んでる?感じがしました。

私がこのNIE講演を聞いて感じたことは、

私は、マスコミという仕事を入ってなんの

メリットがあるのか、ぜんぜんわからなかつたけど、今日のNIE講演を聞いて、少しづつわからんと思ひます。読み手にわかりやすい文を書いて、読み手が必死になつて読んでもういたいからとか、なのかなと思いました。

それを一つされたのでよかったです。

私も、読み手が必死に読んでいたところくられしいと思うからいいなと思いました。

今まで何が楽しいのか、LSなかつたけど、今日の授業でしるこかできましたので、よかったです。

私はこの仕事もいいなと思えました。

新聞記者にはなしを聞くのはなかなかかないことだ。たし、色々なことを学べて良か、た。自分自身新聞はすきだけれど、読む場面はあまりないし、勝手な想像で新聞記者は少しうつうしいイメージがあった。けれど今回、新聞は細かいところまでし、かりつくられていて、新聞記者も自分なりに思いを持って一生懸命やっているんだと思った。ミスがあるたら給料が下がったり、わざとだ。たらケビにもなったり・厳しいところもあるんだと知った。これからはもう、こメディアを利用して、正しい情報かを考えながら色々なことを知れるようになりたい。

本物の記者のお話を聞く機会はめった
に無い(と思う)のでお話を聞くことが
できて良かったです。ほくの記者のイメージ
がドラマによく出てくる家におしかけて取材を
している感じだったのでお話を聞いて記
者は取材相手のことを考えて取材をして
いるということが分かった。記者は明るい記
事を書くこともあれば暗くて悲しい記事
や取材もすることがあるからストレスがたまたり
精神的にもしんどい仕事なんじゃないかと思
いました。でも浜田さんは記者の仕事が人の
役に立てるのかみりよくて言っていたのでや
りがいがあるんじゃないかと思いまし
た。

フェイクニュースを私は、みたことがなくて、熊本地震のことのライセンスが、フェイクニュースだ、たぶんてしらなくて、学校でフェイクニュースですよ、といわれたとき、とても、おどろきました。私も、最初は、フェイクニュースとはしらずに、その画像をみていました。だから、もと正確な情報を、しる、みる、そして、書いてみたいと考えて、思いました。

私は、記者は、「う、とおしい」と思つたことがありません！なぜなら、記者の人は、本人に話を聞いて、しかも、正確なことを、かいていて、私は、本当かうそかわからぬいけど、でも、よみややすいし、わかりやすいし、新聞は、前の日のことを、かいていて、自分が、しらない内容もあるから、とてもうれしいです。あと、ほかの市（明石市など）の、で“きじ”とまで、の、ているので、とてもやくに立ちます。まだん松達が、いよいよ、ところで、しゃかりと記者の人たちは、うごいてるんだ”と私は、おもひました。浜田記者さん、おいかがい中ありがとうございました。

自分は新聞記者やマスコミの記者などが少し怖いなと思っていました。見ていくにんたは「へえーこんなことが起きてるんだ」と考えますが、それと同時に自分ももし何かインパクトを受けることになります。しかし、今日のNIE講演を聞くと、自分の住んでる辺りで何か事件が起こり、インパクトを受けることになても、しがり自分のことを考えてくれると言っていたので少し安心しました。

世の中には、「それがたくさん広まりしていく」自分もその情報を少し信じがちなので、少しでも「本当かな?」と思ったら、その情報を出してくる所や、記事の内容をよく言えど、そのうえで「この情報は信じてもいいかな」「この情報はあやしいからあまりあてにはしないでおこう」として、しがり区別していくと思います。

今日のNIE講演をきいて

SNSはとてもうそとかかわばいから
し、かりとそれをつく。人にとかみて
し、かりとは人にしないつといけない
んだけなーとおもいました。

はじめてライオンのきじを見て
さいじょみたらほんまにみえていた
し、かりとみてる合成ってわかるが
らし、かりみてテーマにまどわさも
すにしないとめりにくくからむか
るんちんとみなあがんなー
もった。テーマみたいなのをくり
たげてはっきりとかはいかれて
したこともひくつしました。